



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 横浜丸魚株式会社

上場取引所 東

コード番号 8045 URL <https://www.yokohama-maruu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 雅裕

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員本社総務部長 (氏名) 大和 周治

TEL 045-459-2921

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	30,997	0.1	344	21.5	786	23.9	510	18.7
2025年3月期第3四半期	30,954	4.0	283	15.8	634	16.8	430	7.4

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 3,285百万円 (203.8%) 2025年3月期第3四半期 1,081百万円 (△41.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	81.11	—
2025年3月期第3四半期	67.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	32,369	20,030	61.7
2025年3月期	25,279	17,429	68.7

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 19,968百万円 2025年3月期 17,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	15.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	19.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正につきましては、本日(2026年2月5日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	41,500	4.2	450	26.9	800	12.5	550	88.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	7,261,706 株	2025年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,234,898 株	2025年3月期	894,898 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	6,298,808 株	2025年3月期3Q	6,366,808 株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(収益認識関係)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の底堅さやインバウンド需要の継続的な回復を背景に、景気は緩やかな持ち直しの動きを見せました。一方で、円安基調の長期化やエネルギー・原材料価格の高止まりに加え、米価格をはじめとした物価上昇が家計を圧迫し、個人消費の回復には力強さを欠く状況が続いております。また、地政学的リスクの長期化に加え、日中間の貿易環境の変化などにより、世界経済の先行きに対する不透明感は依然として高い状況にあります。

当社グループの中核事業であります水産物卸売事業におきましては、サンマをはじめとする主要魚種の取扱いが堅調に推移したほか、地場水産物の安定した水揚げが継続し、売上の確保に寄与したことに加え、黒潮大蛇行の終息に伴う漁場環境の変化により、一部の魚種では資源回復の兆しが見られ、市況は総じて底堅く推移いたしました。一方で、海外における資源管理の強化や需要増加の影響から、サバをはじめとする輸入原料の価格は引き続き高水準で推移しており、更には燃料費や物流コストの上昇も重なり、収益面では引き続き厳しい事業環境となっております。こうしたコスト上昇を販売価格へ転嫁する動きは一定程度進展したものの、物価高に対する消費者の消費行動に変化が見られ、販売環境は必要最低限の購入にとどまるなど、慎重な動きが続いております。

このような状況の下、当社グループは「横浜丸魚グループ中期経営計画2023 ～Rebirth～」の最終年度として、「水産卸売事業を通じた社会貢献」「長期的視点の経営」「人を大切にする経営」をベースに、水産物の安定供給の責務を果たすとともに、集荷力および販売力の強化に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は30,997百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ43百万円(0.1%)の増収となりました。利益に関しましては、営業利益は344百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ60百万円(21.5%)、経常利益は786百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ151百万円(23.9%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は510百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ80百万円(18.7%)、それぞれ増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(水産物卸売事業)

売上高は24,806百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ79百万円(0.3%)の増収となり、営業利益も203百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ71百万円(54.1%)の増益となりました。

(水産物販売事業)

売上高は5,754百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ84百万円(△1.4%)の減収となり、営業利益も14百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ10百万円(△42.9%)の減益となりました。

(不動産等賃貸事業)

売上高は140百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ2百万円(2.1%)の増収となりましたが、営業利益は95百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1百万円(△1.7%)の減益となりました。

(運送事業)

売上高は296百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ45百万円(18.0%)の増収となり、営業利益も33百万円と前第3四半期連結累計期間に比べ1百万円(4.5%)の増益となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、32,369百万円と前連結会計年度末に比べ7,089百万円増加しました。この主な要因は、売掛金の増加2,510百万円、時価評価等による投資有価証券の増加4,002百万円によるものであります。

負債は、12,338百万円と前連結会計年度末に比べ4,487百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の増加3,206百万円、投資有価証券の時価評価等に伴う繰延税金負債の増加1,278百万円によるものであります。

純資産は、20,030百万円と前連結会計年度末に比べ2,601百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加224百万円、自己株式取得による減少375百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加2,744百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,917	2,901
売掛金	3,487	5,998
商品及び製品	1,338	2,045
その他	61	64
貸倒引当金	△479	△516
流動資産合計	7,326	10,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,710	1,665
土地	2,167	2,167
リース資産（純額）	150	126
その他（純額）	51	55
有形固定資産合計	4,080	4,013
無形固定資産		
ソフトウェア	38	33
リース資産	25	18
その他	10	10
無形固定資産合計	73	61
投資その他の資産		
投資有価証券	13,675	17,677
長期貸付金	0	0
破産更生債権等	289	288
繰延税金資産	10	11
その他	89	88
貸倒引当金	△266	△266
投資その他の資産合計	13,799	17,799
固定資産合計	17,953	21,875
資産合計	25,279	32,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,537	5,743
短期借入金	600	600
1年内返済予定の長期借入金	1	—
未払法人税等	118	106
引当金	56	15
その他	326	433
流動負債合計	3,641	6,898
固定負債		
退職給付に係る負債	363	358
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	3,430	4,709
その他	387	343
固定負債合計	4,209	5,439
負債合計	7,850	12,338
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	8,745	8,969
自己株式	△800	△1,175
株主資本合計	9,889	9,738
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,485	10,230
その他の包括利益累計額合計	7,485	10,230
非支配株主持分	53	62
純資産合計	17,429	20,030
負債純資産合計	25,279	32,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	30,954	30,997
売上原価	28,339	28,279
売上総利益	2,614	2,718
販売費及び一般管理費	2,331	2,373
営業利益	283	344
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	346	447
その他	8	8
営業外収益合計	356	457
営業外費用		
支払利息	5	7
車両事故損失	—	5
自己株式取得費用	—	2
その他	0	0
営業外費用合計	5	15
経常利益	634	786
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	3	0
投資有価証券売却損	7	—
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	630	786
法人税、住民税及び事業税	170	225
法人税等調整額	22	18
法人税等合計	192	244
四半期純利益	437	541
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	430	510

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	437	541
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	644	2,744
その他の包括利益合計	644	2,744
四半期包括利益	1,081	3,285
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074	3,255
非支配株主に係る四半期包括利益	6	30

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年11月6日開催の取締役会決議に基づき、自己株式340,000株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が375百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が1,175百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	138百万円	123百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	6,747	—	—	—	6,747	—	6,747
冷凍	8,130	—	—	—	8,130	—	8,130
塩干加工他	9,848	—	—	—	9,848	—	9,848
水産物一般	—	5,838	—	—	5,838	—	5,838
運送	—	—	—	250	250	—	250
顧客との契約から生じる収益	24,726	5,838	—	250	30,816	—	30,816
その他の収益	—	—	137	—	137	—	137
外部顧客への売上高	24,726	5,838	137	250	30,954	—	30,954
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,572	62	20	93	1,748	△1,748	—
計	26,299	5,900	158	344	32,702	△1,748	30,954
セグメント利益	131	24	96	31	285	△1	283

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	水産物 卸売事業	水産物 販売事業	不動産等 賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
鮮魚	7,168	—	—	—	7,168	—	7,168
冷凍	7,376	—	—	—	7,376	—	7,376
塩干加工他	10,261	—	—	—	10,261	—	10,261
水産物一般	—	5,754	—	—	5,754	—	5,754
運送	—	—	—	296	296	—	296
顧客との契約から生じる収益	24,806	5,754	—	296	30,857	—	30,857
その他の収益	—	—	140	—	140	—	140
外部顧客への売上高	24,806	5,754	140	296	30,997	—	30,997
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,587	64	20	90	1,763	△1,763	—
計	26,394	5,818	161	386	32,760	△1,763	30,997
セグメント利益	203	14	95	33	345	△1	344

(注) 1. セグメント利益の調整額△1百万円は、棚卸資産の未実現利益△1百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、(セグメント情報等の注記)に記載のとおりであります。